

「天国の美しさと平安を味わいました」



教会創立28周年を迎えるまで惜しみなく注いでくださった神の恵みに感謝して、芸能委員会(委員長イ・セジン 牧師)による盛大な祝賀行事が繰り返されました。10月10日、夕方礼拝の時、本聖殿特設舞台で天国の新しいエルサレムの海での宴会が開かれた。ハン・ジュギョン賛美宣教師、金管アンサンブル、セレム音楽宣教師、芸術宣教師、パワーワッシュチームとジン・ソル兄弟、ニシ・オーケストラと連合聖歌隊などが出演、三位一体の神に栄光を帰す御使いのかしらと御使いたちの賛美、そして宴会に招待されて、神に感謝と栄光をささげる聖徒たちの告白を美しい旋律の賛美と演奏、舞踊で表現した。終わりを飾った会衆賛美は同席したすべての人を神の愛と恵みで一つにした。国内外の来賓は「天国に入ったような平安と喜びを感じた」「とても感動して思わず涙が出た」「出演した兄弟姉妹が心から神様をあがめているのを感じた」など賛辞を惜しまなかった。

10月8日の金曜徹夜礼拝2部では、創立28周年記念前夜行事とGCN開局5周年記念行事があった。キム・ヘギョン牧師とイ・ソヨン姉妹のデュエット、ハレルヤ宣教師、クリスタルシンガーズ、光の声重唱団で構成された連合賛美チームによる14か国語の賛美は海外の訪問客に喜ばれた。創立28周年祝賀行事の感動を写真でお伝えする。



01 ニュース

「私が主役になろう」とさらに覚悟を
イ・ジェロク牧師、万民中央教会創立28周年記念
礼拝で語る

02 いのちのみことば

信仰の量り(27)
「信仰の量り」シリーズの最終回。信仰の五段階の
人が入る新しいエルサレムとはどんな所か？

03 創立特集インタビュー

「マンミンは本当に違います」
創立28周年を迎えて本教会を訪れた海外のお
客様のマンミンの働きを知った感想をインタビューし
てみた。

04 祝賀公演

「天国の美しさと平安を味わいました」
本教会の芸能委員会による創立28周年記念行事
「天国、海での宴会」の感動的な祝賀公演を写真で
紹介する。

万民ニュース

第96号 2010年 10月 24日
MANMIN NEWS
TEL: 82-2-818-7042
www.manmin.org/Japanese

「私が主役になろう」とさらに覚悟を イ・ジェロク牧師、万民中央教会創立28周年記念礼拝で語る

10月10日午後3時、万民中央教会の本聖殿で創立28周年記念礼拝と祝賀公演があった。1部記念礼拝はチョ・デヒ牧師の司会で、チョン・グヨン牧師の代表祈禱に続き、堂会長イ・ジェロク牧師が「栄光を受けることを喜ばれる神」(イザヤ43:21)というメッセージを伝えた。

イ・ジェロク牧師は「神は賛美と舞踊を喜び、神を心の奥から愛して変えられた子どもたちによって栄光を受けること、神の力でご自身の摂理を実現し、その実を通して栄光を受けることを願われています」と説教した。

終わりに、教職者と職員、聖徒たちに「今後、終わりの時の働きを完成するのに、『私が主役になろう』とさらに覚悟を固めてほしい」と語った。

2部祝賀行事はシン・ドンチョ、イ・スジン牧師の司会で公演「天国：海での宴会」があった。本教会の芸能委員会440人余りと外部の公演専門スタッフ100人余りが協力して、天国の新しいエルサレムの宴会で披



10月10日、主日夕方礼拝の時にあった創立28周年祝賀行事のフィナーレで、堂会長イ・ジェロク牧師が祝賀客と聖徒たちに挨拶している。イ・ジェロク牧師と出演陣は公演のテーマ「天国：海での宴会」に似合う明るい色の服を着ている。

露される御使いの踊り、御使いのかしらの賛美があり、この地上で耕作を受けた聖徒たちがそこに喜びと感謝の告白をささげた。この公演は本聖殿を特設舞台にして行われ、先端特殊効果を使ってFULL HDで撮影された。(関連記事4面)

これに先立ち、8日の金曜徹夜礼拝2部では、前夜行事とGCN(Global Christian Network: 世界キリスト教ネットワーク)理事長イ・ジェロク(牧師)開局5周年祝賀行事があった。芸能委員会の華麗な公演とGCNの足跡を振り返るビデオ上映があった

理事長イ・ジェロク牧師とのトークショーでは、全世界の魂を救うためにGCNによる放送宣教の道を開かれ、無から有を創造された神の大いなるみわざが再確認された。

今回の行事はGCN(www.gcntv.org)とマンミンテレビ(www.manmintv.org)、インターネットで国内外に生中継され、また、後日録画放送される予定である。

創立28周年記念前夜3D映像物 「牧者の愛」上映



創立28周年前夜、3Dめがねをかけて3D映像物「牧者の愛」を鑑賞中

10月8日午後9時50分、第2聖殿横の野外行事会場で、CNLテレビ社長、インドのプラタプシン牧師など海外からの祝賀客も参加して、3D映像物「牧者の愛」を上映した。テーマは、主のしもべとして召されてから現在まで、地獄の惨状を知っている者として、ひとりの魂も失わないように切に祈ってきた堂会長イ・ジェロク牧師の魂への愛と神の力ある働きによって進められている魂の救いである。

日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNCS-6衛星で同時にささげています。

- イエス・キリスト大阪万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
http://hidamanmin.to.cx/
- 名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市中東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980
- イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌島町
5-775-15
T) 072-220-5289
http://www.osmanmin.com/
- イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町 2-25-3
T) 03-3809-3326
http://tabata.manmin.or.kr/
- イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンゲル 301号室
T) 044-277-0178
- イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市宇上安久 138
T) 0773-75-6656
http://www.manmin.jp/
- 岡山万民教会
〒718-0005 岡山県新見市上市56フラーコーポ
T) 0867-72-7276
- イエス・キリスト八千代万民教会
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670
T) 047-483-3587
- イエス・キリスト舞田万民教会
〒311-2102 茨城県舞田町市濁沢1080-6
T) 0291-39-9177
- イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- 横浜鶴見福音教会(協力)
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4
T) 045-521-5843

日本支教会11月スケジュール

11/3(水)	舞鶴万民教会	ハンカチ集会 / 金マルコ牧師
11/7(日)	山形万民教会創立13周年記念礼拝およびハンカチ集会 / イ・ヒソン牧師	
11/10(水)	松本万民教会	ハンカチ集会 / 伊藤正明牧師
11/13(土)	別府万民教会	ハンカチ集会 / 加藤勲牧師
11/22(月)	八千代万民教会	ハンカチ集会 / 青木久尚牧師
11/23(火)	大阪万民教会	ハンカチ集会 / 金マルコ牧師
11/24(水)	飯田万民教会	ハンカチ集会 / 柳承吉牧師
11/27(土)	名古屋万民教会	ハンカチ集会 / 時国みや子牧師
11/28(日)	東京万民教会	ハンカチ集会 / 崔楽蘭伝道師



堂会長・イ・ジェロク牧師

信仰の量り(27)

「私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」(ローマ12:3)

「そして、御使いは御霊によって私を大きな高い山に連れて行って、聖なる都エルサレムが神のみもとを出て、天から下って来るのを見せた。都には神の栄光があった。その輝きは高価な宝石に似ており、透き通った碧玉のようであった。」(黙示録21:10-11)

今回は「信仰の量り」の最終回です。新しいエルサレムの大きさとかたち、新しいエルサレム家の美しさそこでの暮らしについて伝えます。

天国で一番素晴らしい場所は新しいエルサレムです。愛そのものである神様が備えられた愛の結晶体であり、まことの愛を分かち合うまことの子どもを得るために、あれほど永い歳月を寛容を尽くして待っておられ、将来、永遠に幸せに愛を分かち合せて生きようと、最善を尽くして用意されたくつろぎの場所なのです。花びら一つ、削られた宝石一つ一つにも神様の愛と力が込められていて、創造主の神様の栄光で満ちているところ。神様は新しいエルサレムに皆さんが入ってくることを望んでおられます。しかし、ここに入るためには、信仰の五段階に入って、悪はどんな悪でも避けて心を完全に真理の実で満たし、全家を通じて忠実な者にならなければなりません。

1. 新しいエルサレムの大きさとかたち

ヨハネの黙示録21章と22章をみると、新しいエルサレムは正六面体で、長さも幅も高さも一万二千スタディオン、約2,400キロメートルです。城壁は透き通っていながら青みを帯びている碧玉でできていて、都は混じりけのないガラスに似た純金でできてあります。四方の城壁にはそれぞれ三つ、計十二のアーチ型の真珠門があり、その上にはイスラエル十二部族の名が書いてあります。このように都の門が真珠でできているのは、真珠に含まれた霊的な意味があるからです。貝は自分の分泌液を出して異質物をおおひ、その結晶体が真珠になります。聖徒が新しいエルサレムに入る資格を得るために、それぞれの涙と痛みを耐え忍んで、完全に真理に昇華させた生き方をしなければなりません。それで、新しいエルサレムの門を真珠で造られたのです。

都の土台石は十二の宝石でできています。それぞれの霊的な意味は、第一の碧玉は霊の信仰、第二のサファイヤはまっすぐな心を表します。第三の玉髄は潔白と犠牲、すなわち、自分の利益を全く求めないで神様と隣人のためにいのちまで捨てられる心です。第四の緑玉は、光の実である正義と真実、第五の赤縞めのは死に至るまで忠実である心、第六の赤めのは熱心と真心、すなわち、使徒パウロのように神の国を実現する熱情的な愛を意味します。第七の貴かんらん石はあわれみ、第八の緑柱石は、寛容、第九の黄玉は善意、すなわち、争うこともなく、叫ぶこともない、いたんだ葦を折ることもなく、くすぶる燈心を消すこともない、主の心を意味します。第十の緑玉髄は自制、第十一の青玉は傷もしみもない心のきよさと聖なること、第十二の紫水晶は美しくして柔和なことを意味します。

このような宝石に含まれた霊的な意味をまとめれば、まさに父なる神様の完全な心であり、主の心です。都の土台石が十二の宝石でできていのは、聖徒の心にもこのような霊の実が完全に結ばれてこそ入れるということを表しています。

真珠門をくぐって都の中へ入れば、太陽や月はないけれど、神様の栄光が満ちていて、いつも昼間のように明るくてまぶしく輝いています。遠くから見れば、きらびやかな栄光の雲の間に、天国の家を飾るさまざまな宝石の光が合わさって、まるで都全体が生きて動いているように見えます。

2. 栄光ある新しいエルサレムの家

三天層と新しいエルサレムの家は、一階建てではなく二階以上で、純金と宝石で華麗に建てられています。池、庭園、スキー場、動物園、ゴルフ場、舞踏会場など好きな施設が全部個人的に持てます。

三天層の家は平均的に新しいエルサレムの家の60パーセントくらい大きさを、その規模からしてはつきり違います。また、三天層の家も純金と宝石でできているけれど、その宝石の種類と光には差があります。新しいエルサレムには数えきれない種類の宝石があって、それぞれ一つの光ではなく、二重、三重の光を放つ宝石が多いです。

天国の碧玉に最大限似たものがあるなら、「青い海の水面に日差しが反射して、まぶしく輝く様子」と言えるでしょう。碧玉だけでもこうなのに、数多くの宝石が光彩を放つとき、その家の美しさがどれほど壮観でしょうか。それぞれの家には、主人が御霊の歩みに入った深さと忠実に仕えた功労、また行跡と好みによって、いろいろな特色があります。栄光の光が家をどれほど取り巻いていて、どんな宝石で飾られているのかだけを見ても、家の主人がどれほど聖められて、この地上で神様にどれほど喜ばれたのかわかります。

そのうちの軒には、端が見えないほど広い領域に宮殿のような母屋があって、母家を囲んでいる塀があります。塀は碧玉か青い光のガラスのように見えます。その塀の外からは中が見えないけれど、中からは外が透けて見えます。この地上の塀とは違って、つぎ目が全くない一つの彫刻品のようで、それ自体からもうとりする香りが放たれて、塀の下に植わっている花々も濃い香りを放ちます。塀には精巧な模様がちぎし彫られていて、塀の内か外から彫刻したのではなく、塀の中から彫刻されたように模様が見えています。文字と模様が塀の中からほのかに浮かび上がります。この家の主人がこの地上で神様に喜ばれたこと、その人が耕した心の善と美しさなどが記されています。これで神様がこの地上で送ったすべて歳月を慰めてくださるのです。

新しいエルサレムに入った人が神様が備えてくださった自分の家を見ると、何も言えなくなり、ただ感謝の涙がとどろくあふれます。正門に入ると、広い敷地と細部まで細やかに飾られた美しさで気が遠くなるほどです。庭園にはあらゆる花と木が美しく配置されていて、華麗な羽の鳥がかわいく歌ってくれます。庭園を横切って母屋まで純金の道があって、道端に植えられている花々はかぐわしい香りを放って主人の功労をほめたたえ、この地上でのすべての苦しみと労苦を慰めてくれます。家の中には、普段から願っていたすべてが備えられています。たとえば、文書宣教で多くの魂を救ったある方の家には、美しい書齋が作られています。神の国のために自分の人生と愛する家族まで神様にささげられた方の家の庭園には、愛する人々と水入らずの時間を送れるように、美しいテンプルが靱いとして与えられています。新しいエルサレムに入るまで数多くの忍耐と犠牲の時間を送ったとしても、このように備えられた一つ一つの報いを見ると、あっという間にその心が慰められるのです。

3. 新しいエルサレムでの生活と栄光

新しいエルサレムに入れば、願っていたことは何でもかなえられて、想像さえできなかった大きく美しい場所と報いを与えられます。しかし大切なことは、建築材料と施設一つ一つがこの地上で神様にささげた愛と忍耐、忠実と献身によって

造られるということです。この地上で愛するものや頼りものを主のためにささげるとき、新しいエルサレムではそのすべてが慰めと報いになるのです。愛の神様はたった一つも見逃してしまうことがありません。神の国のために悲しむとき、その涙一滴さえむだに消えず、そのすべてが皆さんの家を作る資材と飾りになります。新しいエルサレムに入った人はこの地上では神様のみことごととおりに生きて、天国では神様が彼らの思いどおりすべてを味わうようにしてくださるのです。

人々の服装を見れば、天国でも一番美しくして鮮やかで輝く最上の色で新しいエルサレムに入った人の栄光を表現します。ふわふわした服地には華麗な宝石が飾られ、多様な模様が織り取られています。たとえば、どれほど感謝したかを表す感謝の模様があって、賛美の模様があり、その他にも喜びの模様、祈りの模様などがあります。特に栄光の模様は新しいエルサレムの中でも神様に特別に栄光をささげた人だけ受けるもので、他の模様とその栄光の輝きが明らかに区別されています。この模様をつけている人はもっと尊敬されるのです。

頭には「義の冠」(第二テモテ4:8)や「金の冠」(黙示録4:4)、これ以外にも花で飾った花の冠、真珠の冠、クリスタルの冠などをはじめ、あらゆる宝石で繊細に華麗に飾られた冠を席に合わせてかぶるのです。女性には冠だけでなく、特別な髪飾りがあります。パラダイスには冠も何の飾りもありませんが、上の段階に行くほど、女性の髪にはさらに華麗な飾りをつけます。新しいエルサレムの女性はさまざまな宝石の飾りとともに、特別に美しい色に輝く糸のようなもので髪を飾ります。その飾りもまるで髪の一部のように長く垂れて、うっとりした光彩を発するのです。このように、天国では各人が着ている服の色や光、服に彫られた模様と飾った宝石、また頭にかぶった冠と飾りで、その人がどれほど神様に愛されて認められているのかひと目でわかるのです。新しいエルサレムでは、どこに行っても何をしようが、各人に付き添っていつも御使いたちがまるで影のように従ってくれます。互いに霊で通じるので、主人が願うことをいちいち言わなくても、御使いがすべてのことをよくわかってしてくれるのです。御霊の歩みに入った程度に従って、付き添う御使いの数が変わってくるので、その数だけ見てもそれぞれの栄光がわかります。

新しいエルサレムは美しくして華麗なだけでなく、その中で学び、見て聞いて楽しむことに終わりがありません。永遠に生きるけれど、毎瞬新しくして幸せなことでも満ちているのです。いつも宴会が催されていますが、時には父なる神様が、時には主や聖霊様が催されます。神様が催される宴会には、皆が最高に美しく装って、最上のものを食べて飲み、うっとりするような美しい賛美と踊りを楽しみます。その栄華は言い尽くせないものです。皆さんがこの地上で味わう最高の幸せより、幸せがいつも心に満たされているのが、まさに天国での暮らしです。その中でもより素晴らしい天国に行くほど、その幸せと感動がもっと濃く心に臨むのです。神様とともに、そして愛する人々とともに、永遠の時間を楽しんで生きていく所、歳月が経つほど幸せがもっと深くなって、時間が流れるほど感動がより加わる所、そこが私たちが入る新しいエルサレムなのです。

愛する聖徒の皆さんは朽ちるむなしいこの地上のすべてを捨て、より素晴らしい天国に入る希望だけで皆さんの心を満たしますように、力を尽くして花嫁の備えを完全に終えて新しいエルサレムに入り、永遠に神様とともにことごとく喜びます、イエスキリストの御名によって祝福して祈ります。



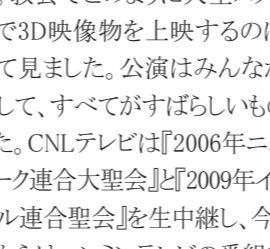
マンミンは本当に違います どれ一つ忘れられない瞬間でした

10月11日、教会創立28周年を迎えて、本教会を訪ねたキリスト教界と海外からのお客様、宣教師と聖徒約120人が全羅南道ムアン郡にあるマンの甘い水の泉を訪問した。彼らはイ・ジェロク牧師の祈りで海の塩水が甘い水になるようにしてくださった神に出エジプト1525感謝の礼拝をささげた後、ムアン万民教会のキム・ミンソル牧師の導きで「空の観察」をした。

マンの甘い水に七たび身を浸すと、心に平安と喜びが臨んでいやしを体験するなど、聖霊の驚くべきみわざが現れた。また、マンの海がひと目で見られる教会前の芝生で歓迎行事があった。彼らに創立行事に出席した感想を聞いてみた。



カザフスタンCNLテレビのマクシム・マクシモフ社長は「私はNRB(世界キリスト教放送人協会)を通してマンミンの働きを知るようになりました。教会でこのように大型スクリーンで3D映像物を上映するのは初めて見ました。公演はみんなが協力して、すべてが素晴らしいものでした。CNLテレビは『2006年ニューヨーク連合大聖会』と『2009年イスラエル連合聖会』を生中継し、今年9月からはマンミンテレビの番組を放送し始めました。10月末にある『エストニア連合聖会』を生中継する予定です。」と語った。



インドのキリスト教放送、サルベイン・ジョンテレビのジェイムズ・ベンセント社長は「祈りと聖潔を強調するイ・ジェロク牧師のメッセージ、天国にきたような公演など、どれ一つ忘れられない瞬間でした。すべてが新しく感動的です。『2009年イスラエル連合聖会』をインド全域に生放送しましたが、多くの人がいやされて、放送局に誹りが殺到しました。本当に驚くべきことでした」と述べた。



ケニアのナク・マートのミナ・シャ代表理事は「万民中央教会は霊的に非常に水準が高いし、よく組織されています。」と語った。



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



MANMIN TV

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.manmintv.org
e-mail: info@manmintv.org

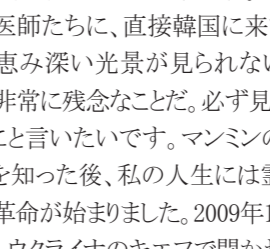
超えて、先生の本をもっと読みたいと言っています」と伝えた。



フランスのホーリーゴッドテレビのデニス・エドネザ支社長は「イ・ジェロク牧師は神がともにおられる方です。ここで天国が感じられました。GCNで伝えられたイ・ジェロク牧師のメッセージ『十字架のこぼれ』はとても人気があります。また、イ・ジェロク牧師の祈りでいやされた誼しと祈りを依頼する電話が殺到しています」と語った。



ウクライナのクリスチャン医師協会に所属する精神科医のビートル・リャブチンスキー博士は「まるで天国に行ってきたようです。同僚の医師たちに、直接韓国に来てこの恵み深い光景が見られないのは非常に残念なことだ。必ず見るようにお願いしたいです。マンミンの働きを知った後、私の人生には霊的な革命が始まりました。2009年10月末、ウクライナのキエフで開かれたWCDN第6回国際キリスト教医学学会に参加しましたが、祈りを通していやしの事例と神の力あるわざについての事例が発表された学会は初めてでした」と述べた。



インドの有名なゴスペル作曲家ダドラー・タンガヤ牧師は「公演は非常に感動的で霊的でした。公演を見ながら全身に戦慄を感じたし、心が安らかでした。聖徒たちが神様を恐れ敬っていることがよくわかりました。イ・ジェロク牧師の祈りの生活と犠牲的な人生は非常に印象的



で、非常に謙虚に私たちに仕えてくださるのを見て感動しました。マンの甘い水もインドでは有名です。妻も一緒に来ましたが、神のみわざを体験しようとするたくさんの人たちが水を持って帰るよう頼みました。

で、非常に謙虚に私たちに仕えてくださるのを見て感動しました。マンの甘い水もインドでは有名です。妻も一緒に来ましたが、神のみわざを体験しようとするたくさんの人たちが水を持って帰るよう頼みました。



コンゴ民主共和国のフレディン・バカダ国務総理補佐官は「イ・ジェロク牧師は私たちの国でとても有名です。インターネットで説教を聞いて、教会を見ましたが、直接来てみると教員のすべてが立派で、よく組織されていて感動しました。マンの甘い水も有名で、神のみわざを体験しようとする人たちから、持って帰ってほしいと頼まれました」と述べた。



タイのスラブ・プラトゥムワン牧師は「聖潔の福音は信仰を確立させるメッセージで、神の力は私たちに信仰の確信を持たせます。聖霊の火のような働きを体験して、主のしもべと聖徒間の愛と仕えについて学んでいきます」と語った。また「マンミンの賛美は最高です。タイのクリスチャンは祈りが足りませんが、マンミンの祈りは熱いです。ダニエル復讐祈禱会に参加して、祈りを学びました」と感謝の言葉を述べた。妻のインドチャイナ神学校のベスタ・ジェミニ教授は「万民中央教会には若者たちが主のために献身する熱情があります。私たちの教会の聖徒と神学生たちも、このように献身の人生になってほしいと思います。すべての日程が幸いで、天国に来たようです。マンミンの働きについてもっと学びたいです」と語った。



Jap.

万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロ区クソン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048